

電気電子情報工学科

進級と卒業について (3年生)

履修要綱

大学の理念と目的

I. 共通基盤教育

共通基盤教育の授業科目配当表

II. 専門教育

電気電子情報工学科 専門科目配当表

卒業研究履修の資格

卒業要件

III. Stop the CO2プログラム



履修を進める上で重要な資料があります。

それは履修要綱です。

これには授業の履修計画に必要な科目配当表、卒業研究履修の資格
卒業要件などが説明されています。

履修要項は卒業まで使いますので、決して紛失しないようにしてください。

注：履修要綱は卒業まで使用します。決して紛失しないようにしてください。

コース制

●EA(実践的エンジニアコース)

個性(得意分野)を伸ばす→選択の自由度大

●EC(電気主任技術者コース)

電験3種関係の資格取得を目指す

●EE(教員養成コース)

教員採用試験合格を目指す

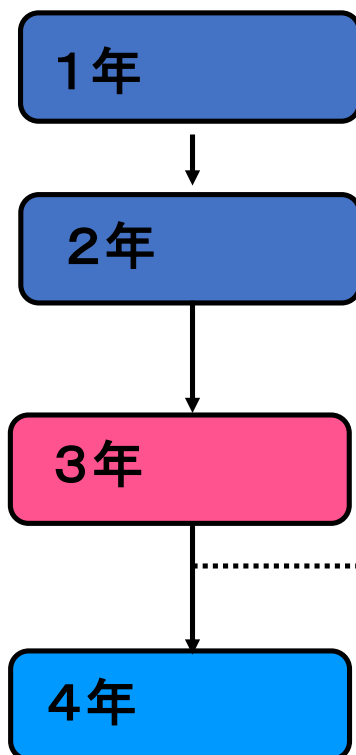


ここでは、コース制について説明します。
電気電子情報工学科では、コース制を設けています。
コースには、EA, EC, EE, ETがあります。
EEは入学時に、ETは入学時および1年次の9月に、それぞれ選択する機会があります。
EAとECの2コースは、2年生進級時に選択することになります。
ほとんどの学生がEAまたはECコースに所属することになります。
各コースについては、履修要項に特徴などが記載されていますので、ここでは説明を省略させていただきます。

●ET(特別専攻)

次世代の研究および技術開発を担うリーダーを目指す

進級と卒業までのプロセス



3年生は、これから4年生へと進級していくことになるのですが、3年終了時に少なくとも**104単位分**の授業に合格する必要があります。卒業研究を履修する資格を得るための要件を合わせて満足する必要もあります。この要件を満足しないと、四年生になり、卒業研究を履修することができません。**強調しますが、104単位を修得したとしても、卒業研究履修資格が得られなければならないのです。**

一方、卒業するためには、少なくとも**124単位**を取得し、**卒業要件を満足**する必要があります。十分に注意して履修計画を立てる必要があります。

年間最低35単位を修得することが目安となります。一方で、3年終了時に必要な科目について**116単位以上**を取得していると余裕をもって卒業研究に取り組むことが可能です。

卒業研究履修資格
104単位以上と
他の条件を満たせば、卒業研究着手

卒業研究**6単位**と電気電子工学ゼミ**2単位**

卒業要件 124単位以上と他の条件 卒業

3年生の内に**116単位以上**と卒研着手要件を満たせば、4年生のときに卒業研究に集中できる！

卒研着手に関する注意事項

●配属の条件

前期終了時点で**78単位**以上修得
(後期26単位以上修得する必要があります)



卒業研究着手に関する注意事項について説明したいと思います
卒業研究は**研究室に配属**の上すすめていきます。

●卒業研究着手条件

3年終了時に卒業研究着手要件科目
(104単位以上)を習得していること。

研究室配属のための要件として、**3年前期終了時点で78単位以上の取得**を求めています。**後期には26単位以上の修得**が求められます。次に卒業研究着手条件ですが3年終了時に、**卒業研究着手要件科目104単位以上を習得**している必要があります。研究室配属は、例年12月頃に**希望調査を実施**し、可能な限りそれを満足するよう実施しています。

●卒業研究 研究室配属

例年12月頃に希望調査と配属を行う

履修制限



履修制限について説明します。

履修制限される科目は、それよりも前の年次等で実施される科目の単位取得が前提となるものをいいます。

例えば、1年生後期科目の基礎電気回路2は、前期開講科目である基礎電気回路1を修得していなければ、履修することができません。基礎電気回路1と2は、必修科目ですので特に注意が必要です。

- 表1に示す科目では、履修が体系的かつ段階的に進むように、履修制限を設けています。
- 履修制限のある科目では、指定された科目の単位を修得していなければ履修できません。

■ 表1 履修制限

履修する科目名	単位修得済でなければいけない科目	対象学生
基礎電気回路Ⅱ	基礎電気回路Ⅰ	全学生
回路解析Ⅰ・Ⅱ	基礎電気回路Ⅰ	全学生
電磁波とその応用	電気磁気学ⅠまたはⅠ-EB及びⅡまたはⅡ-EB	2014年～2019年度入学生
電気磁気学Ⅲ	電気磁気学ⅠとⅡ	2020年度入学生

履修要綱 p.65

卒業研究履修の資格

下表のAはEAコース CはECコース



A			C			*注	
3年次終了時の必要単位数 104単位 (共通基盤教育：26単位以上を含む)			3年次終了時の必要単位数 104単位 (共通基盤教育：26単位以上を含む)				
修得していなければならない科目							
スタディスキル 現代社会講座 身の回りの数学 情報リテラシー キャリア設計 キャリア開発			6科目	スタディスキル 現代社会講座 身の回りの数学 情報リテラシー キャリア設計 キャリア開発			6科目
英 語 I 英 語 II 英 語 III 英 語 IV 英 語 V 英 語 VI			3科目 6科目中	英 語 I 英 語 II 英 語 III 英 語 IV 英 語 V 英 語 VI			3科目 6科目中
電 気 電 子 数 学 微 分 積 分 学 I-c 又は微分積分学 I-d 基 礎 力 学 I-c 又は基礎力学 I-d 又は基礎力学 I-a			3科目 2科目中	電 気 電 子 数 学 微 分 積 分 学 I-c 又は微分積分学 I-d 基 礎 力 学 I-c 又は基礎力学 I-d 又は基礎力学 I-a			3科目 2科目中
物理・化学ユニットプログラム			1科目	物理・化学ユニットプログラム			1科目
基礎電気回路 I 基礎電気回路 II 基礎電子回路 I 電気磁気学 I 電気磁気学 II			5科目 4科目中	基礎電気回路 I 基礎電気回路 II 基礎電子回路 I 電気磁気学 I 電気磁気学 II			5科目 4科目中
電気電子基礎ユニット 電気電子応用ユニット 電気電子専門ユニット 電気電子発展ユニット 又は3年特別プロジェクト			4科目	電気電子設計製図 電気電子基礎ユニット 電気電子応用ユニット 電気電子専門ユニット 電気電子発展ユニット 又は3年特別プロジェクト			5科目

注1) A (実践的エンジニア) コース、C (電気主任技術者) コース

さてそれでは、卒業研究履修資格について説明してまいります。
この表に要件がまとめられています。履修要綱に同一の記載がございます。
第一行には**コース別**が示されます。学生さんの選択したコースに応じて第一列、第二列のいずれかに注目いただければと思います。第一列にあたるEAコースを例に見てまいりましょう。一番上には**共通基盤科目の要件**が示されています。「スタディスキル」といった6科目の単位取得が必要であることがわかります。その下の欄は、英語系科目に関する要件です。示された6科目から3科目を履修する必要があります。

その下には、専門基礎導入系科目、専門基礎科目、実験系科目の順に卒業研究履修資格の要件が示されています。専門教育科目はいずれも必修科目に指定されているものです。

赤字で実験科目を示しました。1年次に開講の「電気電子基礎ユニット」、2年次開講の「物理化学ユニットプログラム」、「電気電子応用ユニット」、3年時に開講の「電気電子専門ユニット」、「電気電子発展ユニット」もしくは「3年特別プロジェクト」は**一つでも不合格があると四年生に進級できませんので、注意が必要です。**

ECコースではこれらに加えて、「**電気電子設計製図**」の単位取得が求められます。

履修要綱 p.67

卒業研究履修の資格 (特別専攻)

3 年次終了時の必要単位数 104単位 (共通基盤教育：30単位以上を含む)	
修得していなければならない科目	
スタディスキル 新聞理解表現演習Ⅰ、新聞理解表現演習Ⅱ 実践プレゼンテーション・スキル 社会時事・討論演習 グローバル・コミュニケーション 社会・経済事情 技術者倫理 情報リテラシー キャリア設計 キャリア開発 早期インターンシップ準備演習 早期インターンシップ	13科目中10科目
ReadingⅠ ReadingⅡ ReadingⅢ ReadingⅣ ListeningⅠ ListeningⅡ ListeningⅢ ListeningⅣ 科学技術英語Ⅰ 科学技術英語Ⅱ Reading and ListeningA-1 Reading and ListeningB-1 Reading and ListeningA-2 Reading and ListeningB-2	14科目中10科目
解析学Ⅰ 線形代数学 物理学A 物理学B 物理・化学ユニットプログラム	5 科目
基礎電気回路Ⅰ 基礎電気回路Ⅱ 電気磁気学Ⅰ 電気磁気学Ⅱ 回路解析Ⅰ 回路解析Ⅱ 基礎電子回路 電気電子基礎ユニット 電気電子応用ユニット	9 科目
電気電子専門ユニット 3 年特別プロジェクト 1 年生特別専攻ゼミⅠ 1 年生特別専攻ゼミⅡ 2 年生特別専攻ゼミⅠ 2 年生特別専攻ゼミⅡ	6 科目



こちらは特別専攻、ETコースの卒業研究履修資格取得要件です。多くがETコースのみに開講されている科目であり、他のコースとは要件がこととなりますが、実験系科目のいくつかは他コースと同様の扱いとしています。

履修要綱 p.66 卒業要件

教 育 区 分			必選別	卒業必要単位数			
				A	C	E	
共通基盤教育	導 入 系		必修	1	1	1	
	倫 理 系		必修	—	—	—	
			選択	2	2	2	
	人 文 社 会 系		必修	2	2	2	
			a 群	必修	—	—	2
				選択	4	4	6
			b 群	選択	2	2	4
				c 群	選択	2	2
	倫理系、人文社会系（自由選択）		選択	2	2	—	
	健康・スポーツ系		必修	—	—	2	
			選択	1	1	—	
	英 語 基 礎 系		選択	4	4	4	
	言 語 応 用 系		必修	—	—	2	
			選択	3	3	1	
数 理 情 報 系		必修	4	4	4		
		選択	2	2	2		
キ ャ リ ア 系		必修	3	3	3		
			(小計)	(32)	(32)	(39)	
専 門 教 育			必修	40	60	40	
	専 門 基 礎 導 入	a～c群	選必	7	7	7	
	専 門 基 礎		選択	8	4	8	
	専 門 基 礎・専 門		選必	—	4	—	
	専 門	a 群 教職コース	選必	2	2	2	
			選必	—	—	8	
			選択	22	2	14	
			選択	—	—	—	
			(小計)	(79)	(79)	(79)	
任 意			13	13			
合 計			124	124	131		



無事に卒業研究の履修がなかったとしても、4年生終了時に卒業要件を満足していなければ卒業することはできません。

3年生の間に卒業研究履修資格要件を越えて、卒業要件を満足するように旺盛な単位取得を進める必要があります。

この表が**卒業要件**を示しています。当然ですが卒業研究履修資格要件より厳しい内容が課されています。

教育区分は第一列に示されますが、共通基盤教育、専門教育、任意に分かれ、さらに細目に分かれています。細目ごとに要件が定められていることに留意ねがいます。

第二列には必選別が示されます。必修、選択、選択必修の区別が記載されています。

第三列の卒業必要単位数の欄は、コースごとに分けて記載されています。

A、C、Eに分かれていますが、それぞれEA、EC、EEコースを意味します。

第三列には、教育区分細目ごとに、卒業に必要な単位数が記載されています。例えば、冒頭の共通基盤教育科目導入系では、必修科目を、コースによらず1単位、修得しなければならないことがわかります。

青い枠線でしめすように、共通基盤教育科目を32単位、専門教育科目を79単位、任意科目を13単位取得しなければなりません。

合計では**赤枠**のとおり、124単位の取得が求められます。

履修要綱 p.68
卒業要件
(特別専攻)

教 育 区 分		必選別	卒業必要単位数
共通基盤教育	導 入 系	必修	1
	倫 理 系	選必	2
	人 文 社 会 系	必修	6
		a群	2
		b群	2
		c群	2
	健康・スポーツ系	選択	1
	英 語 基 礎 系	必修	8
	言 語 応 用 系	必修	6
	数 理 情 報 系	必修	2
	キ ャ リ ア 系	必修	6
		(小計)	(38)
専 門 教 育	専 門 基 礎 導 入	必修	15
	専 門 基 礎	必修	28
	専 門	必修	21
		選択	22
		(小計)	(86)
合 計			124



つぎに特別専攻、ETコースの卒業要件を示します。
この表が要件を示しています。さきほど同様のフォーマットで記載されています。
ただし、特別専攻には任意科目は設定されていません。
青枠で示す通り、共通基盤教育科目38単位と専門教育科目86単位の取得が求められます。**赤枠**の通り、合計で124単位を取得する必要があります。

3年の成績表(EAコースの例)



区 分	卒業要件	取得単位					合計	卒業不足	卒研不足	履修中
		1年	2年	3年	4年	認定				
導入系	1	1					1			
倫理系	2			2			2			
人文社会系	10	8	6				14			
倫理人社自由	2						0			
健康スポーツ系	1	2					2			
英語基礎系	4	2	1				3			
言語応用系	3	4					4			
数理情報系	6	6					6			
キャリア系	3					3	3			
共通基盤選択	3									
共通基盤合計	3									
専門導入必修										
専門導入選択										
専門導入選択										
専門基礎必修	16	8	7							
専門基礎選択	6		6							
専門基礎選択	8	4	4				8			
専門 必修	12			4			4	8		
専門 選択	2			2			2			
専門 選択	22		4	6			10			
専門教育選択	—									
任意	13		6	5		2	13			
総合計	124	47	37	21		5	110	8		

3年終了時の理想的な成績例

区 分	卒業要件	取得単位					合計	卒業不足	卒研不足	履修中
		1年	2年	3年	4年	認定				
導入系	1	1					1			
倫理系	2			2			2			
人文社会系	10	4	2	2			8	2		2
倫理人社自由	2						0			
健康スポーツ系	1	2					2			
英語基礎系	4	1	1				2	2	1	1
言語応用系	3	4	2				6			
数理情報系	6	6					6			
キャリア系	3					3	3			
共通基盤選択	—									
共通基盤合計	32	18	5	4		3	30	4	1	3
専門導入必修	6	3	3				6			
専門導入選択	7	8					8			
専門導入選択	—			2			2			
専門基礎必修	16	6	7	3			16			
専門基礎選択	6		6				6			
専門基礎選択	8	4	4				8			
専門 必修	12			4			4	8		
専門 選択	2						2	2		2
専門 選択	22		4	8			12	10		10
専門教育選択	—									
任意	13		4	2			6	5		
総合計	124	39	33	23		3	100	29	1	15

3年前期時の成績例

前期、英語が不合格した場合



後期に履修し合格すると英語に関する卒研着手を満足する



卒業には、不足の英語を4年次に受講し、試験に合格しなければならない

さてそれでは、成績表のチェック法ならびにご留意いただきたいポイントを説明します。左側に三年終了時の理想的な成績表を示します。

第一列は区分と示されていますが、先ほどお話しした教育区分細目が対応します。第二列は卒業要件に記載されている取得すべき単位数が示されます。一方、第三列には学生さんが取得した単位数を年次ごとに記載されます。第四列がその合計です。

したがって、**第二列の数字に対し第四列の数字が小さいときには卒業に必要な単位数に達していないことになります。**この不足数が第五列です。**ここに数字が記載されている場合には注意が必要**です。第六列は、卒業にいたる手前の卒業研究履修資格要件に対するふそく単位数が示されます。最後の列には、履修中の単位数が記載されます。

例えば、通年履修が求められる科目、成績評価未了の科目の単位数が該当します。表の最終行には、列ごとの集計が記載されています。取得単位三年の欄には今学期に取得した単位数が書かれます。直近の学生さんの様子を見る指標といえるでしょう

卒業するために不足している単位数、卒業研究に着手するのに不足している単位数も重要なチェック項目です。なお、**黄色でハッチングした欄の8単位は、4年次に取得する「卒業研究」と「電気電子工学ゼミ」に該当するものです。すべての学生さんについて表記されるものですので気にとめられる必要はありません。**

さて、右の表には三年前期の成績表の例を示しました。

英語基礎系科目が不合格であったため、後期に英語基礎系科目をかならず履修して単位取得する必要があります。これが1単位にとどまる場合には、卒研着手はかないますが、卒業にはいたりません。この場合には4年時に残りの1単位を取得する必要があります。4年次に卒業研究に集中するためにも、3年後期に2単位を取得することが望めます。

国家資格に関する説明 (卒業後)



つぎに、国家資格に関する説明をいたします。

電気電子情報工学科では、所定の科目を履修し、その単位を修得することで、国家資格取得に関する免除等が得られます。記載されているように、第二種電気工事士、電気主任技術者、電気通信主任技術者、工事担任者が該当します。これらは、電気電子情報設備における主要な国家資格です。

在学中の国家試験合格を目指し、集中講座を開講しています。将来希望する就職先の業種・職種にあわせ、受講を検討されると良いと思います。

・第二種電気工事士の筆記試験免除

所定の科目を修得し卒業した場合、申請により筆記試験が免除となる。

・電気主任技術者免状

所定の科目を修得し卒業した場合、実務経験により免状を申請できる。

・電気通信主任技術者試験の一部免除

所定の科目を修得し卒業した場合、申請により、電気通信主任技術者試験のうち、「電気通信システム」の試験科目が免除となる。

・工事担任者試験の一部免除

所定の科目を修得し卒業した場合、申請により、工事担任者試験のうち、「電気通信技術の基礎」の試験科目が免除となる。

以上で説明を終わります.
